



KUZUU

ROTARY CLUB NEWS

例会日 毎週火曜日
 例会場 栃木県佐野市葛生東
 1-12-11
 ㈱足利銀行葛生支店 2F
 FAX 0283(85)4451

2022～2023 RI 会長テーマ

「イマジン・ロータリー」 ジェニファーE.ジョーンズ

葛生 RC 会長テーマ

「温故知新

～ 歴史をふり返り、より良い未来へ ～」 永井治寿

副会長 関塚保雄 幹事 土屋 登 副幹事 奥山浩司

2022～2023 第 2925 回 2023. 2. 21 例会場 於：(株)足利銀行 2F PM 12：30～

葛生RC ホームページアドレス <https://www.kuzuurc.com/> ★メールアドレス info@kuzuurc.com

会長挨拶

対話型 AI の開発競争が進んでいるようです。Chat GPT なるソフトで AI が簡単に的確な文章を作り上げてくれるという代物です。ただし違うなということもあるそうです。皆さんも参考に活用するといいと思います。

そこで問題がありまして、そのソフトを使うと論文も宿題も自分の頭で考えなくても済むということです。



パスカルは「人間は考える葦である」と言

いました。考えなければ人間ではないとも言えます。シンギュラリティ（技術的特異点）がすぐそこまで来ているということのようです。人間が働かずに食べていけて、考えないで済み、天真爛漫なペットのような存在になるのでしょうか。皆で考えていきましょう。



会員表彰

誕生祝 酒庭和一会員

結婚祝 大串政希会員



会員リレー卓話

・相子正幸 君





出席状況報告



※ 出席率の計算式

当日出席した正会員数

$\frac{\text{当日出席した正会員数}}{\text{(全正会員数)-(欠席した免除適用を受けた正会員数)}} \times 100$

中田英昭委員

本日の出席	会員数	義務出席者数	欠席数	事前メール	出席率
	36名	26名	10名	0名	%
本日の欠席者	飯田 飯塚 高橋 蓼沼 長島 中野 野部 松原 本島 吉澤(浅)会員				
前回の出席 (修正)	前例会日	欠席数	事前メール	修正出席率	
	2/14	7名	0名	78.1%	

ニコニコBOX報告

中田英昭委員

永井 治寿 君	だんだん春めいてきました。目がかゆくなる季節です。花見が待ちどおしいです。合掌
土屋 登 君	相子君、途切れていたリレー卓話を復活して頂きありがとうございます。
酒庭 和一 君	74才の誕生祝いを頂いて。又、妻の誕生祝いに花束を頂いてありがとうございます。
大串 政希 君	結婚祝頂きありがとうございます。 令和に入り結婚記念日が祝日(2/23 天皇誕生日)となり、毎年お祝いをしています。
合計金額	11,000円
クラブ会報委員会 蓼沼大介 委員長 中田英昭 副委員長 今井 修 委員	

2022~2023年度 国際ロータリー第2550地区 第9グループ インターシティーミーティング

2023年2月4日(土曜日) 佐野市葛生あくとプラザにて ガバナー補佐 吉澤浅一

佐野市内の佐野RC・田沼RC・佐野東RC・葛生RC 4クラブが活動報告をすることで、活動の見直しや知識を取入れる機会として毎年持ち回りで実施し親睦を深めています。

ここ3年新型コロナ感染拡大で中止されていたが、今回久しぶりの対面で三井ガバナーエレクトをお招きしての大会開催となりました。4クラブ会長の活動報告・青藍泰斗IAC・佐野日大さくらIACの会長による活動報告、米山記念奨学生・青少年交換学生の自己紹介と例年通りの会議を進めました。今回はコロナ禍での飲食を控え思い切って懇親会ではなく、記念講演という学びの時間を選択いたしました。RI会長ジェニファーE・ジョーンズ氏は「多様性はロータリーの長年にわたる中核的価値観のひとつであり、最大の強みです」と指摘しています。そこでホストクラブ葛生は協議を重ね、国際的にも遅れているといわれる性的少数者の権利を勉強すべく、LGBTQ+当事者の生の声を聴くことにチャレンジしました。女装パフォーマーブルボンヌさんを講師に招き1時間の講演を企画いたしました。ブルボンヌさんの第一声は「オネエ」とは何でしょうか?でした。その次は驚きの数字「8.9%」です。読者の皆さんは何を示す統計数字だと思いますか?

そして彼女(?)の最後の言葉は「**自分の決断に自信を持ち、自分を愛する人になる。**」でした。反省会では主催の永井会長は「LGBTQ+に対しなかなかピンとこないところを本人から生の声で聴いたことで理解が深まった」と述べ、吉澤ガバナー補佐は「新しい時代に合ったLGBTQ+の知識を取り入れ多様性・公平性を含めたかたちの新しい事業への展開ができればうれしい」と語りました。今後LGBTQ+当事者は社会の常識がこうあるべきと決めつけられることで自信を無くしたり、のびのびできないことがあるので、それぞれが自信をもって答えられるような習慣が学校・職場・社会全般の中で生まれたら多様性・公平性がより進化するでしょう。今まさに世界の中で日本の遅れた一面を今回のインターシティーミーティングで投げかけた思いです。

